



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	EVOLUTION OF ARCHOSAURIAN NECK FUNCTION AND EVOLUTIONARY MECHANISM OF AVIAN S-SHAPED NECK
Author(s)	宇津城, 遥平
Description	この博士論文の全文は利用可能日以降に公開されます。利用可能日以前の閲覧方法は https://www.lib.hokudai.ac.jp/dissertations/copy-guides/ をご参照ください。
Degree Grantor	北海道大学
Degree Name	博士(理学)
Dissertation Number	甲第16750号
Issue Date	2026-03-25
DOI	https://doi.org/10.14943/doctoral.k16750
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/99595
Type	doctoral thesis
File Information	Yohei_Utsuki_review.pdf, 審査の要旨 https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/



学 位 論 文 審 査 の 要 旨

博士の専攻分野の名称 博士（理 学） 氏 名 宇 津 城 遥 平

審査担当者	主査	教 授	小 林 快 次
	副査	教 授	山 田 敏 弘
	副査	准教授	伊 庭 靖 弘

学 位 論 文 題 名

EVOLUTION OF ARCHOSAURIAN NECK FUNCTION AND EVOLUTIONARY MECHANISM OF
AVIAN S-SHAPED NECK
(主竜類における頸部機能の進化と鳥類の S 字型頸部の進化メカニズム)

博士学位論文審査等の結果について（報告）

近年、恐竜から鳥類への進化に関する研究が盛んに行われている。しかし、その多くは飛翔化に焦点を当てたもので、鳥類の大きな特徴の一つである、頸部の進化に関する研究は皆無に等しかった。その理由は、骨格から頸部の機能を適切に評価できる手法がないからだ。

宇津城君は、筋骨格系の機能を評価する新手法を開発し、これを用いて研究を行った。この手法の妥当性を評価するため、現生種のデータを蓄積した。これにより、頸部機能を骨格から十分に捉えることに成功し、この手法を化石種主竜類へと応用した。その結果、鳥類型頸部の進化過程と原理を明らかにし、手法のさらなる応用の可能性も示した。彼の研究は先駆的であり、世界的に注目されるものである。

よって著者は、北海道大学博士（理学）の学位を授与される資格あるものと認める。